

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

女子美術大学
2020年度
外国人留学生特別選抜
入学試験要項
(B日程)

<http://www.joshibi.ac.jp>



目 次

2	アドミッションポリシー 入学定員
3	入学者選抜方針
4	出願
7	受験
11	合格発表
12	「合否案内」について
14	入学手続
15	その他

アドミッションポリシー（求める学生像）

美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲のある人材を求めます。

求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考え方を持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。

入学定員

大学 芸術学部

学科	定員	専攻・領域	入学後のキャンパス
美術学科	190名	洋画専攻	相模原（神奈川）
		日本画専攻	
		立体アート専攻	
		美術教育専攻	
		芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	220名	ヴィジュアルデザイン専攻	相模原（神奈川）
		プロダクトデザイン専攻	
		環境デザイン専攻	
		工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	160名	メディア表現領域	杉並（東京）
		ヒーリング表現領域	
		ファッションテキスタイル表現領域	
		アートプロデュース表現領域	

入学者選抜方針

留学生を積極的に受入れることにより、異文化や多様な価値観に触れ、学生相互が広い視野と柔軟な思考を獲得するとともに、活気ある教育環境を創り出すことを目的に実施します。「学科・専攻・領域の求める専門的基礎技能」と「意欲・目的意識」をみるため、専門試験と面接を行います。面接では併せて日本語でのコミュニケーション能力もみます。

募集人員

学科	専攻・領域	
美術学科	洋画専攻	
	日本画専攻	
	立体アート専攻	
	美術教育専攻	
	芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	
	プロダクトデザイン専攻	若干名
	環境デザイン専攻	
	工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	メディア表現領域	
	ヒーリング表現領域	
	ファッションテキスタイル表現領域	
	アートプロデュース表現領域	

選考方法

専門試験、面接および提出書類により総合的に判定します。



出願

- 「ネット出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

出願資格

日本国籍を有しない（日本国の永住許可を得ていない）方で、次の①または②の資格を有し、入学後、授業を受けるのに支障のない日本語能力を有する2020年4月1日に満18歳に達している女子に限ります。

①外国において正規の教育制度に基づく学校教育12年の課程を修了または2020年3月31日までに修了見込みの方で、自国において大学入学資格を取得または取得見込みの方

②国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格・GCE-Aレベルのいずれかを保有する方
※出願資格に不明な点があるときは、事前に女子美入試センターに確認してください。

* 授業を受けるのに支障のない日本語能力とは、国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」N2合格程度、日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」科目の得点が「読解・聴解・聴読解」400点満点中270点以上「記述」50点満点中30点以上（レベルB）程度です。

* 本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合は合格しても在籍できません。

出願上の注意

- 登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納めた検定料および出願書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに書類の提出がなかった場合は失格となります。失格となった場合も検定料の返金はできませんので、登録の際は書類送付の日程に注意してください。
- 同一学科内の専攻・領域であれば、第2志望の専攻・領域を申請することができます。
- 第2志望の可否は、第1志望の試験結果により判定します。
- 第2志望を申請した方は第1志望が不合格でも、第2志望で合格する場合があります。
- 第2志望を申請する方は出願登録時に申請してください。
- 出願資格を取得見込みの方で、4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 受験票は提出書類の確認後に印刷可能となりますので、A4サイズの用紙に印刷してください。郵送はしません。
- 「一般社団法人 日中亜細亜教育医療文化交流機構」が主催する JPUE（日本大学連合学力試験）一次通過者については、指定の留学前準備講座を受講し事前課題を達成することで、事前に申請した専攻・領域の外国人留学生特別選抜入学試験当日に実施する専門試験・面接試験を免除しますが、第2志望を申請することはできません。

出願登録期間 2020年2月20日（木）10：00～3月1日（日）13：00

検定料

30,000 円

※「[検定料の減額制度について](#)」をご参照ください。

※日本国外から出願する方は、「ネット出願手順」に従い、クレジットカードでお支払いください。

ネット出願手順

出願する入学試験要項で選択科目の有無などの内容をよく確認し、作業を始めてください。

- ※出願登録にあたってはPCメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・証明写真データが必要です。
- ※出願登録後の変更・取り消し、検定料の返金はできません。STEP 2では入力内容を十分に確認してください。
検定料の支払い前に入力内容の誤りに気付いた場合は、検定料を納入せずに出願情報を再入力してください。
- ※出願登録が完了した時点で出願を受け、自動的に受験番号が決定します。
- ※受験番号は出願情報入力完了時の「受付番号(12桁)」とは異なります。

写真は、本人確認を行うためのものです。
また、入学された場合は学生証にも使用しますので、以下の点に注意してください。

- ・無帽、正面、無背景の証明書用写真であること
- ・本人確認が可能な鮮明なものであること
- ・白黒、カラーは問いません
- ・学生証に使用する上で不適切な写真の場合、入学後に写真を変更して再発行することは可能ですが、再発行の手数料は自己負担となります。

不適切な例：スナップ写真の一部を切り取っている
前髪等で顔が隠れている など



出願登録

STEP 1 ネット出願サイトへアクセス

大学ホームページ ▶ <http://www.joshi.ac.jp/>
から出願サイトへアクセス



STEP 2 出願情報の入力

- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。
- ③入力を完了すると、登録したアドレスに「出願サービス支払い手続きのご案内」メールが送信されますので、受付番号(12桁)・検定料のお支払期限を確認してください。



STEP 3 検定料のお支払い～登録完了

- ①STEP 2で受信したメールに記載されたURLにアクセスし、検定料のお支払方法を選択してください。 ※お支払いに必要な情報は必ず控えてください。
- ②画面に従って、検定料をお支払いください。 ※検定料の他に手数料がかかります。
選択できるお支払い方法
 - ▶ コンビニエンスストア
 - ▶ ネットバンキング
 - ▶ ペイジー対応銀行ATM
 - ▶ クレジットカード

提出書類の送付



STEP 1 各用紙をA4サイズで印刷

「志願票の印刷」にアクセスして「web志願票」などの必要な用紙を印刷します。

- ※ページの拡大/縮小は「なし」で印刷してください。
- ※「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。
- ※封筒貼付用宛名シートはカラーで印刷してください。

STEP 2 提出書類の送付

STEP 1で印刷した用紙と、「調査書」や「証明書」など、出願する入学試験要項で定められた提出書類を、郵送(簡易書留・速達)で定められた期間内に到着するように送付します。

- ※定められた期間内に提出の無い場合は失格となります。
- ※郵送にかかる日数を考慮して、証明書などは早めに準備してください。
- ※提出書類は、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた任意の角2封筒に封入してください。

受験票の印刷 ※郵送はしません。

提出書類の確認が取れた方は、出願サイトから受験票がダウンロードできる状態になります。
登録されたアドレスにメールで通知しますので、メールが届いたら試験の前日までに必ず印刷して試験当日持参してください。
受験上の注意なども記載していますので、必ずA4サイズの用紙に片面印刷して確認してください。

提出書類

①Web志願票（印刷したもの）1枚

※「ネット出願手順」に従い、登録を完了し、印刷してください。

②出願資格を証明する書類

出願資格①の方は、出身高等学校の卒業（見込）証明書（日本語または英語）

注）中国の学校を卒業（見込み）の方は、「出身学校の卒業（見込）証明書」に代えてCHSIの「CREDENTIALS REPORT（学歴認証報告書）」を提出してください。

CHSI日本代理機構で申請する場合は、英語版の原本、中国のウェブサイトでは申請する場合は、英語版のデータを取得し印刷したものを提出してください。

中等専門学校・技術労働者学校・職業中学の卒業確認はCHSI日本代理機構（03-6909-2235）にご相談ください。

出願資格②の方は、それぞれの資格のディプロマと成績証明書

③高等学校在学期間（3年間）の学業成績証明書（日本語または英語）

④外国人留学生入学志願者調書（本学所定：A 4片面2枚）

⑤志願調書（本学所定）

⑥本人確認のための書類としてパスポートの写真付ページのコピー

⑦受験の際の在留資格・期間が確認できる書類（以下3点のうちいずれか1つ）

- ・住民票
- ・在留カード両面のコピー
- ・入国査証・証印のコピー

注）出願時に日本に入国していないなど、提出できない場合は、理由を記入したメモを提出書類に同封し、試験当日に入国査証・証印のコピーを受験票再発行所まで持参してください。

⑧特別な配慮を希望される方のみ配慮希望申請書(本学所定)および診断書

受験時や入学後の修学における特別な配慮を希望する方のみご提出ください。

「配慮希望申請書(本学所定)」はあらかじめオープンキャンパスや進学説明会等を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な内容について事前相談の上記入してください。所定用紙は事前相談の際にお渡しいたします。

また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。

事前相談による申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応ができないことがありますので、あらかじめご了承ください。

*事前相談については女子美入試センターまでお問い合わせください。 ☎042-778-6123

なお、この事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

提出書類に関する注意

- ・証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。原本が1部しかない場合は、出身学校による原本証明済みのコピーを提出することも可能です。（日本語学校による原本証明は認めません。）
- ・証明書類が和文または英文以外の言語で作成されている場合は、大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（和文または英文）を添付してください。
- ・提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- ・提出された書類は原則返却いたしません。

書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の封筒（角形2号）に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 日本国外から提出書類を郵送する場合は、EMS（国際郵便）などの配達状況が追跡できるものを利用して、必ず定められた期日までに届くようにしてください。期日までに届かない場合は失格となります。
- 提出書類が到着したかを確認する場合は、女子美術大学入試グループまでご連絡ください。
E-mail : as@venus.joshihi.jp
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

☎042-778-6123

書類送付締切 2020年3月2日（月）17：00必着

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター



受験

試験日 2020年3月14日(土)

※出願者多数の場合は、3月15日(日)に面接試験を実施することがあります。印刷した受験票で
ご確認ください。

試験場 学科により異なります

■美術学科、デザイン・工芸学科 相模原キャンパス(神奈川)

■アート・デザイン表現学科 杉並キャンパス(東京)

配点 全学科共通【専門試験】100点 + 【面接】100点 計200点

試験科目等 ■美術学科

●洋画専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)は大学で準備します。
	評価基準	・観察に基づく描写ができているか ・画面内での配置、構図がバランス良く表現できているか ・全体と細部の関係、諧調表現等の描写力に基づく表現ができているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:30~ 1人10分程度
	持参作品	大きさ10~30号程度の作品2点と自己アピール用ファイル1冊 (作品写真、スケッチ、クロッキーなど)
	評価基準	・持参作品と資料を基に、これまでに修学したこと、発想の起点、これからの目的を明確に説明できるか ・学習意欲・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか

●日本画専攻		
専門試験	科目・時間	水彩画 9:30~12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
	持参用具	水彩用具一式、鉛筆、消具(水彩絵の具の透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可) ★F10号水彩用紙、画板は大学で準備します。
	評価基準	・水彩画による表現力 ・モチーフの観察、構成力、質感の相違、色彩の表現力
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:30~ 1人10分程度
	持参作品	大きさ10~20号程度の作品2~3点、作品資料ファイル1冊
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか

●立体アート専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられたモチーフを自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で準備します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人15分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか ・質問を素直に受け止め、自分の意思を自身の言葉で表現できているか

●美術教育専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し、鉛筆でデッサンをする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(正規の使用は許可しない) ★B3ボード(シリウス紙)は大学で準備します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人15分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由は明確か ・創作意欲や学業に対する意欲はあるか ・質問を的確に受け止め、自分の言葉で明確に表現できているか

●芸術文化専攻		
専門試験	科目・時間	小論文 9:30~11:30 (2時間) 与えられた課題に関して文章で表現する *辞書の使用不可
	持参用具	筆記具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で準備します。
	評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	・志望理由が明確であるか ・目的意識、学習意欲があるか ・自分の意志を自分自身の言葉で表現できるか

■ デザイン・工芸学科

<ul style="list-style-type: none"> ● ヴィジュアルデザイン専攻 ● プロダクトデザイン専攻 ● 環境デザイン専攻 	
専門試験	科目・時間 鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具 鉛筆デッサン用具一式 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード (画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法 面接 (作品持参) 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度 (ヴィジュアルデザイン専攻のみ受験生2~3人程度)
	持参作品 持参作品は数点とし、平面・立体など自由とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・必ず本人が制作した作品であること ・一般入学試験の専門試験に準じた作品でなくてもよい ・見やすい形式 (現物・写真) で持参すること
	評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

<ul style="list-style-type: none"> ● 工芸専攻 	
専門試験	科目・時間 鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具 鉛筆デッサン用具一式 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード (画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法 面接 (作品持参) 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参作品 <ul style="list-style-type: none"> ・色彩構成 (B3サイズ) 1点 ・デッサン (B3サイズ) 2点
	評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を正確に理解し、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ヒーリング表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ファッションテキストスタイル表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準	・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間(奥行き、高さ、広がり)が感じられる表現となっているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・志望理由、将来の目標が明確か ・目的意識、創作意欲を持っているか ・日本語でのコミュニケーション能力

●アートプロデュース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサンまたは文章表現 【鉛筆デッサン】 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする 【文章表現】 9:30~11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	【鉛筆デッサン】 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。 【文章表現】 筆記用具 ★下書き用白色紙は大学で準備します。
	評価基準	【鉛筆デッサン】 ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか 【文章表現】 ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	面接 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参作品	持参作品は必要としない
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

受験上の注意

- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 日本国外から出願された方は、試験当日の朝、入国査証・証印のコピーを受験票再発行所に必ず提出してください。
- 試験に関する伝達事項は、主として本要項と当日配布するプリントによるほか、掲示で行います。
- 正門の開門時間は**8:00**です。試験場の入場時間は試験当日に確認してください。
遅くとも試験開始の30分前までには来校してください。
- 遅刻・退場については大学の指示に従ってください。
- 試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 定められた期日までに書類の提出がなかった場合や、面接または専門試験のいずれかを受験しなかった場合、また、専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン等は本学で準備したものを使用してください。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は営業しておりません。昼食を持参してください。
- 付添いの方の学内への立ち入りはできるだけご遠慮ください。

合格発表

発表日 2020年3月16日(月) 18:00

※発表時間は状況により遅れる場合があります。

- 合格者全員に合格通知と入学手続書類一式を郵送します。不合格通知は発送しません。
- 合格発表日の発表時間より、電話とインターネットによる「合否案内」での簡易発表を行います。
この発表は、合否確認の補助的な手段ですので、正式には本学からの合格通知によりご確認ください。
「合否案内」の利用方法については次ページをご確認ください。
- 合否について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
- 学内の掲示発表は行いません。
- 合格者で、入学手続書類が発表日の翌々日を過ぎても到着しない場合はお問い合わせください。
(ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。)

☎042-778-6611



「合否案内」について

「合否案内」は正式な合格通知の補助的な手段として、インターネット（パソコン・スマートフォン）電話による音声案内で合否結果を確認できるサービスです。
※正式には本学からの合格通知によりご確認ください。

利用上の注意

- 定められた日時以外には利用できません。利用日時や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。
- 利用の際は、受験番号・生年月日が必要です。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした合否、操作方法、受験番号に関する電話でのお問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。
- 「合否案内」では補欠順位は発表しません。
- 併願している場合は、それぞれの受験番号ごとに確認してください。
- 発表直後はインターネット・電話ともつながりにくい場合があります。つながらない場合はしばらくしてから再度行ってください。

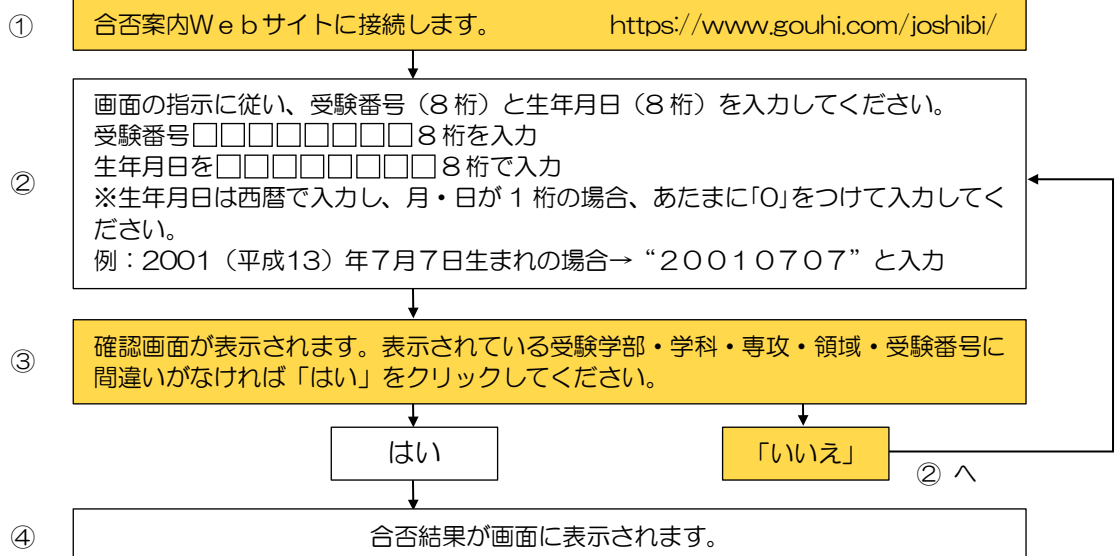
利用可能時間

インターネット・電話 共通
合格発表が午前の入試→発表時間から当日 24：00 まで
合格発表が午後入試→発表時間から翌日 24：00 まで

インターネットによる合否案内

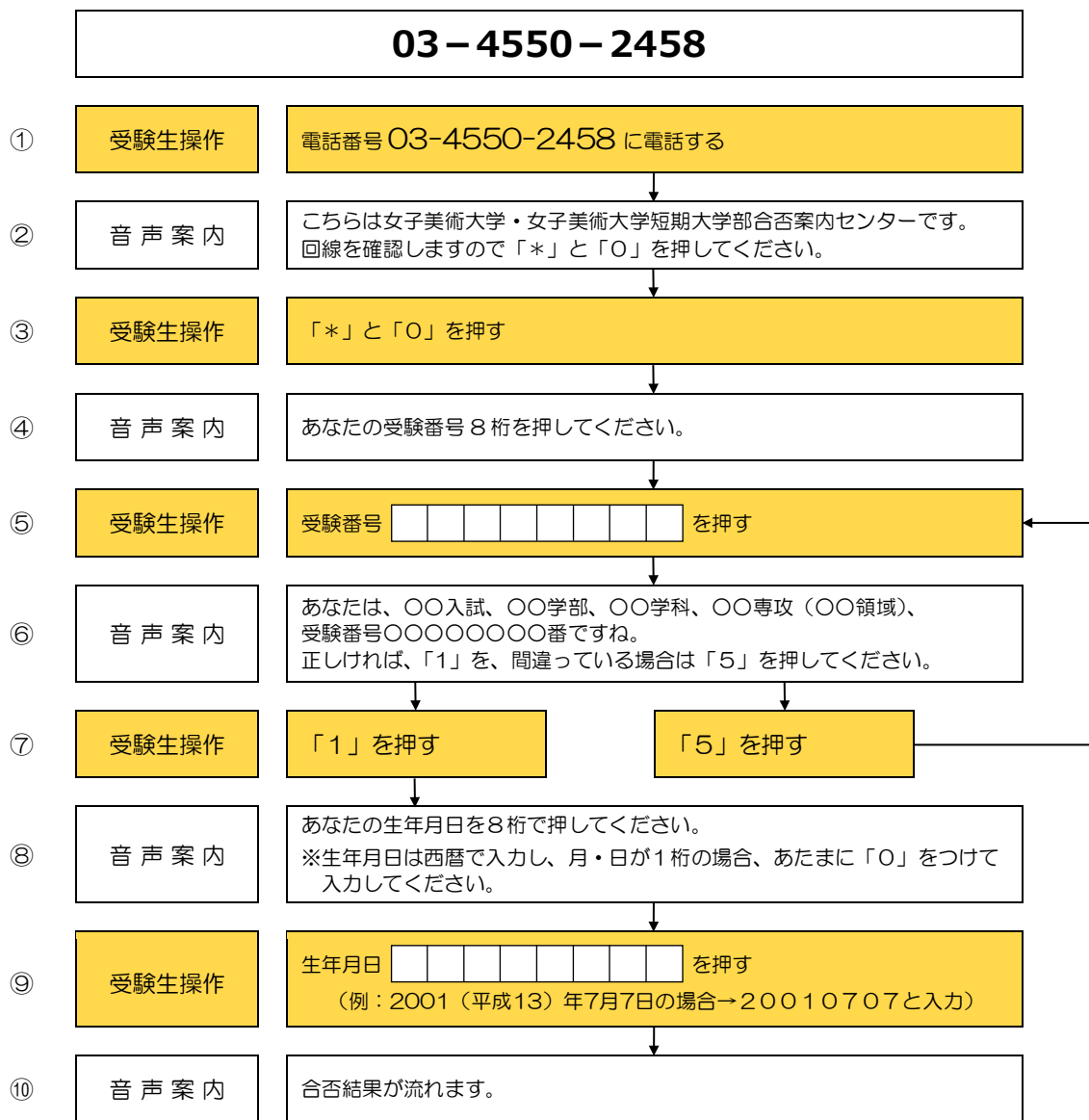
- インターネットに接続したパソコンおよびスマートフォンから利用することができます。ただし、パソコンのブラウザ・スマートフォンの機種によっては、表示ができない場合や、若干の違いがある場合があります。

<https://www.gouhi.com/joshihi/>



**電話による
合否案内**

- 家庭用のプッシュ式電話・携帯電話・公衆電話（グリーン・グレー）から利用できます。



入学手続

締切日までに所定の書類を提出し、入学手続時納入金（下表①）を指定銀行口座にお振込みください。
この手続きが完了した後に入学許可書を郵送します。

*入学手続書類は合格通知に同封します。

*参考として2019年度の学費を記載しますが、2020年度については若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続の手引き」で再度ご確認ください。

締切日 2020年3月23日（月）

学費 初年度納入金（2019年度参考） （単位：円）

学科	専攻・領域	入学金	前期授業料・ 施設設備料等	①入学手続時納入金 (入学金+前期授業料等)	②後期授業料等 納入金合計	初年度納入金 (①+②)
美術学科	洋画	220,000	847,260	1,067,260	837,100	1,904,360
	日本画		833,760	1,053,760	823,600	1,877,360
	立体アート		849,760	1,069,760	839,600	1,909,360
	美術教育		833,260	1,053,260	823,100	1,876,360
	芸術文化		833,260	1,053,260	823,100	1,876,360
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン	220,000	839,160	1,059,160	829,000	1,888,160
	プロダクトデザイン		843,160	1,063,160	833,000	1,896,160
	環境デザイン		839,160	1,059,160	829,000	1,888,160
	工芸		843,160	1,063,160	833,000	1,896,160
アート・デザイン表現学科 (各領域共通)		220,000	853,260	1,073,260	833,100	1,906,360

※アート・デザイン表現学科については、個人用のノートパソコンに係る経費として、在学中毎年度徴収している¥49,000（初年度¥10,000）を含めて表記しています。なお4年間在学した学生には、卒業時に譲渡します。
※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。
※次年度以降の学費については、社会経済情勢等に応じて改定されることがあります。

納入金返還制度

入学を許可された方が入学辞退する場合は、下記期限までに「入学辞退届」を提出し、本学がこれを受理した場合に限り、入学金を除く他の納入金を返還します。（詳細は合格通知同封の「入学手続の手引き」を参照）

入学辞退届提出期限 2020年3月31日（火） 17:00 必着

今後変更がある場合は、合格者に送付する「入学手続の手引き」でお知らせいたします。

納入金の振替

学費を納入後、本学内で、併願先の合格や補欠繰上げ合格等により芸術学部以外の専攻・領域、短期大学部に入学先を変更する際は、納入金の振替が可能です。



その他

宿泊 本学では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。

入学後の住まい 遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。
申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。

個人情報保護について 「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他、個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。
なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、可否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。
※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学ホームページにおいてご確認くださいこともできます。

寄付金等の募集について 本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っていません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っていません。保護者の皆様からのご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

「二ケの会」について 「女子美術大学 二ケの会」は、学生の保護者が中心となり、大学と協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的に活動しています。

授業料減免制度 大規模自然災害被災学生および私費外国人留学生に対する減免制度があります。

奨学金制度 奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の2種類があります。

1. 学内奨学金

本学独自の奨学金で勉学の機会をできる限り援助するため、返還義務のない給付型の奨学金を設置しています。入学後に申請が必要です。

2. 学外奨学金

学外の団体等によって運営されている奨学金制度です。対象、応募方法、募集時期は設置団体によって異なりますが、それぞれの条件にあてはまる場合にのみ応募できます。

こうした団体の代表的なものとして「独立行政法人 日本学生支援機構」があります。

提携教育ローン 奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。

国の教育ローン 日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。

入学試験での作品について 入学試験での専門試験作品の所有権、著作権は、学校法人女子美術大学に帰属します。専門試験作品の返却はいたしません。
なお合格者の作品は、本学の入試参考作品として公開することがあります。